

小水力グループ

小水力発電の普及に、大きな障壁となっているのは、水利権です。

この水利権は治水や災害対策などと絡んでおり、そのような問題をクリアにすることが重要なカギと考えられます。

一方、水利権と関係ない水というものとして、上下水道の施設を考えてはどうでしょうか。上水道施設、下水道施設共に処理後のきれいな水であればゴミの心配もありません、また毎日大量の水が必ず出入りします。ここに水力発電を取り付けるというのはどうでしょうか。

また水車という発想から、脱することはできないでしょうか。アメリカのフィットネスジムでは、人が運動をすることで電気を作る実証実験をしています。回転運動の他、振動や圧力などで発電する仕組みがあるそうです。こういったもので水の力を利用することはできないでしょうか。水利権の他に、水の流れを一定にするなどの技術的制約がなく利用できる仕組みがあるといいですね。